

10 (15)	8	<p>1 新しい人権① 3 グローバル社会と人権 5 ちがいのちがいを追求しよう</p> <p>6 2章のふりかえり 4章私たちの暮らしと経済 ○コンビニエンスストアの経営者になってみよう</p> <p>1 節消費生活と経済 1 私たちの消費生活 3 消費者の権利を守る</p> <p>2 節生産と労働 1 資本主義経済と企業</p>	<p>2 新しい人権② 4 アイヌ民族と先住民族の権利</p>	3	<p>1 私たちの生活と地方自治 2 地方自治の仕組み</p> <p>3 地方財政の仕組みと課題 4 住民参加の拡大と私たち 5 東日本大震災からの復興</p>	4	<p>2 変化の中の日本 3 持続可能な社会に向けて ※定期考査</p> <p>4 町の歴史から将来を考える 5 調布を調べてみよう 6 調布の将来について提案 7 現代の公害問題</p>
11 (14)	6	<p>3 労働の意義と労働者の権利 3 節価格の働きと金融 1 市場経済の仕組み 3 貨幣の役割と金融</p>	<p>4 働きやすい職場を築く 2 価格の働き 4 私たちの生活と金融機関</p>	4	<p>6 X市の市長選挙に立候補する 7 3章のふりかえり 5章地球社会と私たち 3 節これからの地球社会と日本 1 文化の多様性の尊重 2 日本の外交の現状と課題</p>	4	<p>8 歴史の中の大震災 9 人類の歴史とエネルギー 10 現代のまとめ ※定期考査</p>
12 (13)	6	<p>5 景気と金融政策 4 節政府の役割と国民の福祉 1 私たちの生活と財政 3 社会保障の仕組み 5 節これからの経済と社会 1 公害の防止と環境の保全</p>	<p>2 政府の役割と財政の課題 4 少子高齢化と財政</p>	3	<p>3 世界とつながる日本 4 世界平和のために 5 アニマル大陸の危機を救え</p>	4	<p>11 古代の政治 12 古代の経済 13 古代のまとめ 14 中世の政治</p>
1 (15)	7	<p>2 グローバル化する日本経済 4 公害のない世界へ 6 コンビニ弁当を企画しよう 5章地球社会と私たち ○バター戦争</p>	<p>3 豊かさで経済 5 貿易の自由化と日本 7 4章のふりかえり</p>	4	<p>6 5章の振り返り 終章より良い社会を目指して 1 持続可能な社会へ 2 レポートテーマ設定 3 資料収集と読み取り</p>	4	<p>15 中世の経済 16 中世のまとめ 17 近世の政治 18 近世の経済</p>
2 (15)	7	<p>1 節国際社会の仕組み 1 国際社会における国家 3 地域主義の動き 2 節さまざまな国際問題 1 地球環境問題 3 日本のエネルギー政策の今後</p>	<p>2 国際連合の仕組みと役割 4 新興国の台頭と経済格差 2 資源・エネルギー問題</p>	3	<p>4 考察・中間まとめ 5 中間発表 6 訂正・再考察</p>	5	<p>19 近世のまとめ 20 近代の政治 21 近代の経済 22 近代のまとめ ※定期考査</p>

3 (8)	4	4 貧困問題 6 パレスチナ問題	2	7 クラス内発表 1 8 クラス内発表 2	2	2 3 現代のまとめ 1 2 4 現代のまとめ 2
----------	---	---------------------	---	--------------------------	---	------------------------------

合計 1 4 3 時間

1 指導計画・評価計画表

※評価計画内の [] の内容は、評価方法

第3学年観点別評価規準例

【歴史的分野】

第6章二度の世界大戦と日本 3節第二次世界大戦と日本（5時間）

単元の目標

- ・第二次世界大戦の原因や概要について理解させ、ヨーロッパとアジアの動きを比較しながら日本の動向を考えさせる。
- ・戦争体験者などに、積極的に体験談を聞く態度を育てるとともに、戦争の被害と加害の実態を調べ、聞こうとする態度を身につけさせる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用技能	社会的事象についての知識・理解
1	第二次世界大戦の始まり	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争がヨーロッパで起こり、拡大していった経緯を理解する。 ・ドイツやイタリアと同盟を結ぶなど、日本が選んだ行動について、国際的な視野で考える。 		日独伊三国同盟を結んだ日本の行動について、国際的な視野を踏まえて自分の意見を述べている。(思考・判断・表現)		ヨーロッパで起こった戦争の原因・経過を理解している。(知識・理解)
2	太平洋戦争の開始	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のとった南進政策について考え、話し合う。 ・太平洋戦争の背景や戦争が始まった経緯について理解する。 			戦争に対して、資源や国力の差について、具体的な資料を基に考えている。(技能)	太平洋戦争勃発のきっかけやその後の経過について、概要を理解している。(知識・理解)
3	戦時下の人々	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争の長期化とともに国民生活が統制されていく実態を理解する。 ・当時の体験談を聞く機会を設定し、戦争の持つ意味を問い直す。 	当時の体験談を積極的に聞く態度が身についている。(関心・意欲・態度)			日本国内のみでなく、植民地や占領地における状況を理解している。(知識・理解)
4	戦争の終結	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ・イタリアの降伏、沖縄戦から原爆投下などを通して、戦争終結の経緯を理解する。 ・戦争の被害の実態を通して、国民の苦しみについて関心を持つ。 		戦争と国民について関心を持ち、自分の意見を述べている。(思考・判断・表現)		イタリア・ドイツの降伏、沖縄戦、原爆投下などの戦争終結までの概要を理解している。(知識・理解)
5	章のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を通して主に大正時代から昭和時代を大観し、時代の特色を捉える。 		主に大正時代から昭和時代の特色を自分の言葉で表現している。(思考・判断・表現)		主に大正時代から昭和時代の人物や歴史的事象を理解している。(知識・理解)

第7章現代の日本と世界 1節戦後日本の発展と国際社会（7時間）

単元の目標

- ・戦後の日本の歩みを、民主化政策や憲法制定を中心に理解させ、世界の中の日本の立場を考えさせる。
- ・東西対立などゆれ動く国際情勢について理解させ、両陣営の立場について比較しながら考えさせる。
- ・高度経済成長期の日本国内の変化や、国際的な立場の変化について理解させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	占領下の日本	<ul style="list-style-type: none"> ・敗戦後の日本の状況や発生した問題、GHQによる占領政策について理解する。 ・戦後の国民の苦難について、体験者などの話を通して考える。 	戦後の日本の歴史と家族などの個人の歴史の関わりについて考え、関心を持っている。(関心・意欲・態度)			戦後の占領政策と日本が抱えた問題について概要を理解し、その知識を身につけている。(知識・理解)
2	民主化と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> ・戦前との比較によって、具体的な改革の内容に関心を持つ。 ・憲法制定を通して、民主化の実態を理解する。 		憲法や民法の比較を通して戦前からの変化について考え、自分の意見を述べている。(思考・判断・表現)	さまざまな改革に関する資料を収集し、適切に選択して図表にまとめている。(技能)	
3	冷戦の開始と植民地の解放	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連合の誕生と東西冷戦について理解する。 ・中国、朝鮮を中心に、戦後のアジアの動きを、世界の動きを背景に理解する。 	戦後のアジアの動きに関心を持ち、アジアの中の日本という視点を持っている。(関心・意欲・態度)			国際連合の誕生、東西冷戦の概要について理解し、その知識を身につけている。(知識・理解)
4	独立の回復と55年体制	<ul style="list-style-type: none"> ・占領政策の転換を、東アジアの動きと関連付けながら理解する。 ・サンフランシスコ平和条約や日米安全保障条約について、当時の世論を意識しながら話し合う。 	サンフランシスコ平和条約や日米安全保障条約について、当時の国民の考えを調べたり、家族の意見を聞いたりするなど、関心を持っている。(関心・意欲・態度)			占領政策の転換などの日本の歩みをアジアの動きと関連付け、概要を理解している。(知識・理解)
5	緊張緩和と日本外交	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の緊張緩和の動きやアジアへの広がりを理解する。 ・日本の外交を、沖縄の日本復帰を中心に話し合う。 	沖縄の人々の感情などに関心を持ち、その苦勞について調べようとしている。(関心・意欲・態度)			世界の緊張緩和の動きを、年表等を用いて、具体的に理解している。(知識・理解)
6	日本の高度経済成長	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済が高度成長をとげ、国民生活が変化したことを理解する。 ・経済発展のかげで、社会にさまざまなひずみが生まれたことに気付く。 			「日本の国民総生産と経済成長率の変化」から、有用な情報を適切に選択して、読み取っている。(技能)	高度経済成長が国民の生活に大きな変化をもたらしたことを理解している。(知識・理解)
7	マスメディアと現代の文化	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のマスメディアの発達の歴史を理解する。 ・マスメディアによる生活の変化やこれからの付き合い方について考える。 		マスメディアの利点・欠点について考えている。(思考・判断・表現)		マスメディアの中心が、社会の発展とともに変化してきたことを理解している。(知識・理解)

第7章 現代の日本と世界 2節新たな時代の日本と世界（24時）

単元目標

- ・冷戦終結から現在までの日本の歩みを理解させ、将来の日本と世界について考えさせる。
- ・各家庭における冷戦終結から現在までの出来事と、日本や世界の歴史を比較しながら考えさせる。
- ・歴史学習全体を振り返らせ、学習内容を確認させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	冷戦後の国際社会	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦終結と、その後の国際協調の動きについて理解する。 ・冷戦終結後に起こった地域紛争について理解する。 		日本のPKOなどの活動について、多面的・多角的に考察し、自分の意見を述べている。(思考・判断・表現)		冷戦終結後から現在に至るまでの国内外の動きを理解している。(知識・理解)
2	変化の中の日本	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦後の日本の政治の流れを、経済と関連付けて理解する。 ・国際社会における日本の立場について、近年の動きを通して関心を持つ。 			国際社会の動きと、その中の日本の動きを、年表などにまとめている。(技能)	日本の政治の流れの概要を理解している。(知識・理解)
3	持続可能な社会に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・平和で公正な社会をつくるため、差別や偏見をなくすことが課題であることを理解する。 ・国際社会の中での日本の果たすべき役割について話し合う。 	国際社会における日本の果たすべき役割について関心を持ち、進んで意見を述べる態度を身につけている。(関心・意欲・態度)	現代社会の差別や偏見をなくすための方法や、自分たちの役割を考えている。(思考・判断・表現)		
4	町の歴史から将来を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・調布の歴史から将来について考える。 	班員と調布の歴史について進んで話し合っている。(関心・意欲・態度)			
5	調布を調べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・『ふるさと調布』を使い、調布の歴史を調べる。 			資料を使い、調布の歴史を調べ、年表などにまとめている。(技能)	
6	調布の将来を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・調べた内容をもとに調布の将来を考える。 		調布の将来についての意見を述べている。(思考・判断・表現)		
7	現代の公害問題	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の公害について、高度経済成長との関連の中で理解する。 				四大公害裁判をはじめ、日本の公害についての概要を理解している。(知識・理解)

8	歴史の中の大震災	<ul style="list-style-type: none"> 日本の過去の大震災について知り、当時の人々の対応を理解させる。 過去の人々の震災の経験から、これからの私たちの防災や安全を考える。 		過去の経験からこれからの防災や社会づくりについて考える。(思考・判断・表現)		過去の大震災の被害や人々の行動について理解している。(知識・理解)
9	人類の歴史とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 人類とエネルギーの関わりについて、エネルギーの発展を通して理解している。 				人類の歴史とエネルギー利用の変化について、概要を理解している。(知識・理解)
10	章のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 現代を大観し、時代の特色を捉える。 				現代の人物や歴史的事象を理解している。(知識・理解)
11	古代の政治	<ul style="list-style-type: none"> 古代の政治を大観し、古代の政治の特色を捉える。 				古代の政治の特色を理解している。(知識・理解)
12	古代の経済	<ul style="list-style-type: none"> 古代の経済を大観し、古代の経済の特色を捉える。 				古代の経済の特色を理解している。(知識・理解)
13	古代のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 古代を大観し、古代の特色を捉える。 				古代の人物や歴史的事象を理解している。(知識・理解)
14	中世の政治	<ul style="list-style-type: none"> 中世の政治を大観し、中世の政治の特色を捉える。 				中世の政治の特色を理解している。(知識・理解)
15	中世の経済	<ul style="list-style-type: none"> 中世の経済を大観し、中世の経済の特色を捉える。 				中世の経済の特色を理解している。(知識・理解)
16	中世のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 中世を大観し、中世の特色を捉える。 				中世の人物や歴史的事象を理解している。(知識・理解)
17	近世の政治	<ul style="list-style-type: none"> 近世の政治を大観し、近世の政治の特色を捉える。 				中世の政治の特色を理解している。(知識・理解)
18	近世の経済	<ul style="list-style-type: none"> 近世の経済を大観し、近世の経済の特色を捉える。 				近世の経済の特色を理解している。(知識・理解)

19	近世のまとめ	・近世を大観し、近世の特色を捉える。				近世の人物や歴史的事象を理解している。(知識・理解)
20	近代の政治	・近代の政治を大観し、近代の政治の特色を捉える。				近代の政治の特色を理解している。(知識・理解)
21	近代の経済	・近代の経済を大観し、近代の経済の特色を捉える。				近代の経済の特色を理解している。(知識・理解)
22	近代のまとめ	・近代を大観し、近代の特色を捉える。				近代の人物や歴史的事象を理解している。(知識・理解)
23 ・ 24	現代のまとめ1・2	・現代を大観し、現代の特色を捉える。				現代の人物や歴史的事象を理解している。(知識・理解)

【公民的分野】

第1章現代社会と私たちの生活 1節現代社会の特色と私たち（5時）

単元の目標

- ・現代社会をいくつかのキーワードから理解させる。
- ・現代社会の様々な課題について多角的・多面的に考察させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	スーパーマーケットから現代社会を見よう	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットを一つの手がかりに、グローバル化、情報化、少子高齢化などの現代日本の特色がみえてくることに気付くとともに、それらについて関心をもつ。 	現代日本の社会の特色について関心を持ち、意欲的に考えようとしている。(関心・意欲・態度)			
2	グローバル化	<ul style="list-style-type: none"> ・人・物・金・情報など様々な分野でグローバル化がみられることを具体的な事例を通して理解する。 ・日本の貿易や産業の特色を通して、グローバル化がわたしたちの社会や生活に影響をもたらしたことに気付く。 		グローバル化の影響について多面的・多角的に考察し、自分の言葉でまとめている。また、その中で自分たちがどのように生きていけばよいか考えようとしている。(思考・判断・表現)		グローバル化とはどのようなことか、また、様々な分野でグローバル化の進展がみられることを理解している。(知識・理解)
3	情報化	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちが日常どのような情報に接し、それを利用しているかを振り返ることで、情報社会の特色を理解する。 ・情報化の進展がわたしたちの社会や生活に変化をもたらしたことに気付くとともに、情報社会にどのように対応していけばよいか考える。 		情報化がもたらす便利さと問題点について多面的・多角的に考察している。(思考・判断・表現)		現代は情報社会であること、また、情報化により社会がどのように変わったかを理解している。(知識・理解)
4	少子高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・人口ピラミッドなどの統計資料を通して日本の少子高齢化が進んでいる実態を把握するとともに、少子高齢化が進む理由について考える。 				日本が少子高齢社会であること、また、少子高齢化は日本社会や社会生活に影響を与えていることなどについて理解している。(知識・理解)
5	持続可能な社会に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな事例から、持続可能な社会と社会参画の意義を知る。 				持続可能な社会が求められる理由について考えるとともに、社会参画をする態度が重要であることを理解している。(知識・理解)

第1章現代社会と私たちの生活 2節私たちの生活と文化（4時）

単元の目標

- ・現代社会における生活と文化の関係を理解させる。
- ・生活と文化の関係を多角的・多面的に考察させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	私たちの生活と文化の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中に生きる文化について考える。 ・科学・宗教・芸術を取り上げ、暮らしと文化について考える。 	言葉やあいさつ、食習慣など身近な生活の中から文化に関心をもち、関連するものを探し出そうとしている。(関心・意欲・態度)		各種の情報媒体から科学・宗教・芸術など、様々な文化に関する資料を収集している。(技能)	
2	暮らしに生きる伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中から日本の伝統文化を探し、暮らしにどのような影響を与えているか考える。 		日本の伝統文化が日々の暮らしの中で、ものの見方や考え方に影響していることを多面的・多角的に考察している。(思考・判断・表現)		
3	多文化共生を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化の地域的な特色について調べる。 ・日本の中の外国文化について調べ、異なる文化を尊重することの意義について考える。 	日本の中の外国文化について関心を高め、異なる文化を尊重し、文化の交流の大切さを表現している。(関心・意欲・態度)	地理的分野、歴史的分野の学習との関連を図り、日本の様々な地域の特色ある文化について多面的・多角的に考察し、適切に表現している。(思考・判断・表現)		
4	伝統文化の継承と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地域文化の特徴について調べ、地域文化について理解する。 				歴史的分野の学習を活かし、日本の地域文化が時代や環境の変化などによって変容したことを理解している。(知識・理解)

第1章現代社会と私たちの生活 3節現代社会の見方や考え方（5時）

単元の目標

- ・決まりや公正・効率から現代社会の見方・考え方を身につけさせる。
- ・決まりや公正・効率について多面的・多角的に考察させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	社会集団の中で生きる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な社会集団の例を通して、人間が社会的存在であることを理解する。 ・社会集団における対立の存在と合意への努力について考える。 		社会集団における対立の存在に気付くとともに、合意を得るためにはどのような取組が必要かを考え、それを表現している。(思考・判断・表現)		自分が所属する社会集団を挙げ、複数の社会集団の一員として生活していることに気付くとともに、人間が社会的存在であることを理解している。(知識・理解)

2	効率と公正	<ul style="list-style-type: none"> 校庭の例から、公正の意味について理解するとともに、複数の「公正」があることに気付く。 		合意を得るためには公正の考え方が不可欠であることを理解し、その上で公正には複数の見方や考え方があることに気付く、表現している。(思考・判断・表現)		
3	きまりを作る目的と方法	<ul style="list-style-type: none"> 物事の決定の仕方やきまりの意義についての資料を収集・選択し、読み取る。 社会集団の一員として、きまりを守り、きまりづくりに積極的にかかわろうとする意識をもつようにする。 	きまりを守ることを意欲的に追究し、きまりづくりに積極的にかかわることの重要性に気付く。(関心・意欲・態度)		「きまりづくり」の例に基づき、物事の決定の仕方やきまりの意義についての資料を収集し、適切に選択して読み取っている。(技能)	
4	きまりの評価と見直し	<ul style="list-style-type: none"> きまりと問題状況について読み取り、きまりの問題点を列挙する。 きまりを評価するための視点を確認し、実際に評価する。 		「ルールの評価表」(これまでに学んだ、効率と公正、権利と義務などの視点が含まれている)に基づいて例示されたきまりの評価を行い、その問題点や改善策について意見交換をしている。(思考・判断・表現)	例示されたきまりの問題点を探し、書き出している。(技能)	
5	章の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 1章の内容を振り返り確認する。 				1章の内容について大まかに理解している。(知識・理解)

2章個人の尊重と日本国憲法 1節人権と共生社会 (5時)

単元の目標

- 日本国憲法の人権規定を学び、人権について理解させる。
- 日本国憲法の人権についての内容を多角的・多面的に考察させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	ちがいのちがい	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事例について、人権尊重の視点から「あってよいか」を判断する。さらに判断の結果やその理由をグループで話し合う。 		カードの内容を自らの判断で分類するとともに、分類の結果や理由についてグループで話し合い、多角的・多面的に考察している。(思考・判断・表現)		
2	人権の歴史	<ul style="list-style-type: none"> 人権の考えはどのように発展してきたのか、年表などを通して調べ、短文や図表にまとめる。 			人権思想の発展について、教科書 p.34・35などを資料として活用しながら、必要な情報を選択し、読み取ったことを短文や図表にまとめている。(技能)	

3	立憲主義と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> 立憲主義と日本国憲法の基本的原理を理解し、自分たちの生活と最高法規としての憲法とのかかわりについて関心を高める。 	自分たちの生活と最高法規としての憲法とのかかわりについて、関心を高めている。(関心・意欲・態度)			
4	国民主権と天皇の地位	<ul style="list-style-type: none"> 国民主権との関連で天皇の地位について理解する。 				天皇の地位や、天皇の国事行為の内容と特色について、国民主権の原理を踏まえて理解し、その知識を身につけている。(知識・理解)
5	日本の平和主義	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法に示された平和主義や平和に関する諸問題について理解する。 具体的な事例を手がかりに、わが国の安全と世界平和について考察し、その過程や内容を分かりやすく表現する。 		教科書や新聞等からわが国の安全と世界平和に関する事象を選び、その背景や解決への道筋について考察し、その過程や内容を分かりやすく表現している。(思考・判断・表現)		日本国憲法に示された平和主義、自衛隊と日米安全保障条約、非核三原則の意義について理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)

2章個人の尊重と日本国憲法 2節人権と共生社会 (7時)

単元の目標

- 日本国憲法の基本的人権の内容を理解させる。
- 日本国憲法の基本的人権の背景や状況を多角的・多面的に考察させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	基本的人権と個人の尊重	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの人権等を通し、人権が差別などの社会的不利益を救済するための拠り所となっていることを理解する。 				具体例に基づいて、基本的人権を中心とした人間の尊重の考え方を理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)
2	平等権	<ul style="list-style-type: none"> 差別をなくすためにどんな努力が行われ、また自分たちにできることは何かを考え、表現する。 資料から人権課題に関する内容を発見し、それを発表したり、文にまとめたりする。 		対立と合意、効率と公正などの視点を踏まえながら、差別をなくすために自分たちにできることは何かを考え、発言している。(思考・判断・表現)	読み物資料や新聞記事などの中から差別の問題や解決への取組の現状を読み取り、それを発表したり、短文にまとめたりしている。(技能)	
3	共生社会と私たち	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な人権課題を通して、課題のあらましとともに、法が差別の解消に大きな役割を果たしていることを理解する。 				部落差別、民族差別、男女共同参画、障害のある人への配慮など、具体的な人権課題について、その現状や改善への取組、特に法の果たす役割を理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)

4	自由権	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法が定める自由権にはどのようなものがあるか、具体的な事例を通して理解する。 経済活動の自由が、精神の自由と比べて広く制限されている理由を考える。 		<p>具体例を通して、経済活動の自由が精神の自由と比べて法律で広く制限されている理由を考え、分かりやすく表現している。(思考・判断・表現)</p>		<p>自由権にはどのようなものがあり、それらがなぜ重要なのかを理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)</p>
5	社会権	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法が定める社会権にはどのようなものがあるか、具体的な事例を通して理解する。 				<p>社会権にどのようなものがあり、それらがなぜ重要なのかを理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)</p>
6	人権保障を確かなものに	<ul style="list-style-type: none"> 基本的人権を確保するための権利、及び国民の義務の内容を具体的な事例を通して理解する。 具体的な事例から、「公共の福祉」による自由権の制約は、どの程度まで許されるのかを考え、表現する。 		<p>権利と義務の関係について考え、公共の福祉による自由権の制約は、どの程度まで許されるか、事例を通して多角的・多面的に考察し、意見交換をしたり文にまとめたりしている。(思考・判断・表現)</p>		<p>基本的人権を確保するための権利、及び国民の義務にはどのようなものがあるかを理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)</p>
7	「公共の福祉」と国民の義務	<ul style="list-style-type: none"> 公共の福祉による人権の制限はどの程度まで許されるか、具体的な事例を通して考えるとともに、人権を守り育てる責任の重要性に気づく。 日本国憲法における公共の福祉考え方や国民の義務について、具体的な事例を通して理解する。 		<p>公共の福祉による人権の制限はどの程度まで許されるか、具体的な事例を基に多面的・多角的に考察し、意見交換をしたり、文章にまとめたりしている。(思考・判断・表現)</p>		<p>日本国憲法の定める国民の義務にはどのようなものがあるかを理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)</p>

2章個人の尊重と日本国憲法 3節これからの人権保障 (6時)

単元の目標

- 近年注目が集まる新しい人権について進んで学ぶ態度を養う。
- 新しい人権について多角的・多面的に考察する。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1 ・ 2	新しい人権	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事例を通して、社会の変化に伴って新たな人権課題が生まれてきたことに気付くとともに、おもな「新しい人権」について理解する。 人権問題に関する新聞記事などから、現代の人権問題への関心を高め、意欲 		<p>「知る権利」と「プライバシーの権利」などのように、相反する権利について、対立と合意、効率と公正などの視点から考察し、意見交換をしたり、文にまとめたりしている。(思考・判断・表現)</p>		<p>身近な事例を通して、社会の変化と人権とのかかわりについて気付くとともに、「新しい人権」にはどのようなものがあるかを理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)</p>

		的に追究する。				
3	グローバル社会と人権	・国際的な人権保障の重要性について、具体的な事例を通して理解するとともに、社会の変化とともに人権概念が変化してきたことに気付く				コラムなどからグローバル社会における人権課題について読み取り、図表や短文などにまとめている。(技能)
4	アイヌ民族と先住民族の権利	・読み物資料や新聞記事などから、グローバル社会における人権課題について読み取り、それを適切に表現している。				グローバル化の進展に伴い、世界規模での人権尊重のためにどのような努力が行われているかを理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)
5	ちがいのちがいを追求しよう	・具体的な事例について、人権尊重の視点から「あってよいちがい」か否かを判断する。さらに判断の結果やその理由を前時までの学習を根拠にグループで話し合う。		カードの内容を前時までの学習を根拠に分類するとともに、分類の結果や理由についてグループで話し合い、多角的・多面的に考察している。(思考・判断・表現)		
6	2章の振り返り	・2章の内容を振り返り確認する。				2章の内容について大まかに理解している。(知識・理解)

3章現代の民主政治と社会 1節現代の民主政治(5時)

単元の目標

- ・民主政治についての進んで学ぶ態度を養う。
- ・民主政治について多角的・多面的に考察させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	だれを市長に選ぶべき	<ul style="list-style-type: none"> ・「誰を市長に選ぶべき？」という学習活動を通して、政治への興味・関心をもつ。 ・政治が身近なものであること、主権者として政治に参加することが大切であることに気付く。 	課題に対し、意欲的に取り組んでいる。(関心・意欲・態度)	市の課題を踏まえ、課題解決や将来の展望に向けて自分の考えをまとめ、発表している。(思考・判断・表現)		
2	民主主義と政治	<ul style="list-style-type: none"> ・民主主義とは何か、なぜ議会制民主主義を取り入れているかなど、独裁政治や専制政治と比較するなどしてその考え方や意義を理解する。 				議会制民主主義において、「多数決の原理と少数意見の尊重」が必要であることを理解している。(知識・理解)

3	政治参加と選挙	<ul style="list-style-type: none"> 選挙は政治参加の重要な機会であることを理解し、具体的な作業を通じて、選挙制度のあらましを理解する。 				選挙の意義と日本の選挙制度のあらましについて理解している。(知識・理解)
4	政党と政治	<ul style="list-style-type: none"> 政党が国民と国会を結び付ける役割を果たしており、民主政治において重要な存在であることを理解する。 				政党の役割について、具体的な事例に基づいて理解している。(知識・理解)
5	マスメディアと世論	<ul style="list-style-type: none"> 世論について理解し、世論を形成するうえでマスコミが大きな役割を果たしていることに気付く。そして、公正な世論を形成するために一人ひとりがどうあるべきかについて考える。 	新聞記事をもとに気付いたことや自分の考えをまとめ、発表している。(思考・判断・表現)	学習課題に沿った新聞記事を選択収集し、内容を読み取っている。(技能)		

第3章現代の民主政治と社会 2節国の政治の仕組み (8時)

単元の目標

- ・国権の三権の働きや役割を理解させる。
- ・三権の関係と役割を多角的・多面的に考察させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	国会の地位と仕組み	<ul style="list-style-type: none"> 国会のしくみと議決について、「二院制」と「衆議院の優越」を中心に理解する。 				国会の地位と仕組み、議会制民主主義の意義について理解している。(知識・理解)
2	国会の働き	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な法律の制定過程を通して、「法律の制定」が国会の働きの中心であることを理解する。 				国会の主な仕事について理解している。(知識・理解)
3	行政の仕組みと内閣	<ul style="list-style-type: none"> 内閣総理大臣の仕事を通して、内閣の地位と権限について理解する。 関心をもった省庁の仕事について調べ、発表する。 			省庁のホームページなどを活用して内閣の地位と権限、仕事内容について調べ、分かりやすくまとめている。(技能)	内閣総理大臣及び内閣の仕事・議院内閣制について理解している。(知識・理解)
4	行政の役割と行政改革	<ul style="list-style-type: none"> 現在の日本の行政がかかえる課題と行政改革について気付く。 			新聞やテレビのニュース等で行政の役割が増大したこと、一方で行政の課題もみられることを読み取っている。(技能)	
5	裁判所の仕組みと働き	<ul style="list-style-type: none"> 実際の判例などをもとに、三審制や司法権の独立が定められていることの意味と重要性を考える。 		司法制度が、社会の秩序維持や公正な裁判の保障から重要であることを、多面的・多角的に考察している。(思考・判断・表現)		

6	裁判の種類と人権	・裁判の種類と、裁判官・検察官・弁護士の役割を理解する。				裁判の種類と裁判官・検察官・弁護士の役割について、国民の立場から理解している。(知識・理解)
7	裁判員制度と司法制度改革	・裁判員制度が導入された理由や制度の概要を広報用のパンフレットやポスターなどを活用して理解する。 ・国民の司法参加の意義について「模擬裁判」などの学習活動を通して考える。	国民の司法参加が主権者として大切であることに気づき、裁判員制度に関心を持っている。(関心・意欲・態度)			司法制度改革と裁判員制度について理解している。 (知識・理解)
8	三権の抑制と均衡	・三権の関係を具体的な内容をもとに理解するとともに、三権分立の重要性について考える。				三権分立のしくみと三権の関係を具体的に理解している。 (知識・理解)

第3章現代の民主政治と社会 3節地方自治と私たち (7時)

単元の目標

- ・地方自治の意義や沿革について理解させる。
- ・地方自治に関することについて多角的・多面的に考察させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用 の技能	社会的事象についての知識・理解
1	私たちの生活と地方自治	・地方公共団体の仕事について具体的な事柄を通して理解するとともに、地方分権の意味について理解する。 ・市町村の広報誌や身近な人への聞き取り調査などを通して、自分たちが住む地域の特色や課題を調べる。			「地域の課題を調べる学習」において、様々な方法を用いて資料を収集し、選択している。(技能)	地方公共団体の仕事について国の仕事との違いに触れながら理解している。また、地方分権の考え方について理解している。(知識・理解)
2	地方自治の仕組み	・地方議会における条例の制定について理解するとともに、二元代表制のしくみを通して、地方公共団体の政治について理解する。				地方自治のしくみを、地方議会と首長の役割を中心に理解している。(知識・理解)
3	地方財政の仕組みと課題	・地方公共団体が抱える財政上の課題と解決方法について考え、話し合ったことを発表する。			統計資料から地方財政の歳入・歳出や歳出の変化を読み取ったり、将来の歳出をグラフにまとめたりしている。(技能)	

4	住民参加の拡大と私たち	・これから先、自分がどのように地域社会や政治にかかわっていくか考え、将来の主権者としての意識をもつ		学習を振り返り、自らと政治とのかわりについて、多面的・多角的に考察している。 (思考・判断・表現)		
5	東日本大震災からの復興	・東日本大震災からの復興の事例について理解する。				東日本大震災が与えた被害を知り、その後の復興の歩みを理解している。(知識・理解)
6	X市の市長選挙に立候補する	・章で学んだ知識を生かし、地方選挙について考える。	地方選挙について既習事項をもとに進んで学んでいる。			
7	3章の振り返り	・3章の内容を振り返り確認する。				3章の内容について大まかに理解している。(知識・理解)

4章私たちの暮らしと経済 1節消費生活と経済 (5時)

単元の目標

- ・経済について消費生活との関連から考えさせる。
- ・消費生活についての様々な事柄を理解させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	コンビニエンスストアの経営者になってみよう	・経営者の視点から、消費者の消費行動を考えることで、生活と経済の関係、経済活動における限られた資源と選択について考える。	課題学習に意欲的に参加し、コンビニエンスストアの出店・経営の視点から、消費者の消費行動について関心をもつことで、消費生活、経済活動への興味・関心を高めている。(関心・意欲・態度)			
2	私たちの消費生活	・体験的な消費活動を通して、消費者が商品やサービスを購入する際には限られた資源(時間やお金)を活かすための選択(意思決定)がはたらいっていることに気付く。			消費支出や家計支出について考える際に、様々な経済に関する情報を適切に選択し、読み取っている。 (技能)	
3	契約と消費生活	・身近な事例を通じて、消費生活が契約によって成り立っていることに気づき、契約の際に注意すべきことについて考え、表現する。				消費者問題の概要について理解し、その知識を身につけている。(知識・理解)
4	消費者の権利を守る	・日常の消費行動に対しての宣伝や広告の影響に着目し、消費者主権について関心をもつ	宣伝や広告についての調査や話し合いに進んで取り組み、消費者主権と消費についての諸問題に関心をもち、意欲的に学習して			

			いる。(関心・意欲・態度)			
5	消費生活を支える流通	<ul style="list-style-type: none"> 様々な商品の流通経路に、消費者として関心をもち、流通の仕事について理解する。 流通に携わる業者の役割や、流通業者が抱えている合理化の課題について考える。 	身近な商品を例に、生産から消費までの流通経路について積極的に調べようとしている。(関心・意欲・態度)	流通の役割や流通業者が抱えている合理化の課題について多面的・多角的に考察し、生産者、消費者などそれぞれの立場から公正に判断している。(思考・判断・表現)		

4章私たちの暮らしと経済 2節生産と労働 (4時)

単元の目標

- 企業活動に代表される生産と労働の関係を考察させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	資本主義経済と企業	<ul style="list-style-type: none"> 企業の生産活動を中心に、資本主義経済の大まかな特徴を理解する。 中小企業をはじめとする日本の企業の現状と課題について調べ、理解する。 			暮らしを支える企業の意義についての資料を様々な情報手段を活用して収集している。(技能)	資本主義経済の仕組みを理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)
2	株式会社の仕組みと責任	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社の仕組みについて理解し、株価の変動やその背景について関心をもつ。 企業の役割と社会的責任について具体的な例を挙げて考える。 		グローバル化が進展する中での日本企業(中小企業)の課題や問題点について考え、効率と公正の視点から解決策を発表している。(思考・判断・表現)		企業の社会的責任について理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)
3	労働の意義と労働者の権利	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験活動などを活かした発表を通じて、職業の意義や役割について考える。 	自分が経験した職場体験活動について、意欲的に発表している。(関心・意欲・態度)			労働者の権利とその権利を守る法律の整備についての知識を身に付けている。(知識・理解)
4	働きやすい職場を築く	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化や少子高齢化などの社会の変化と職業や労働環境の変化について考える。 		様々な資料から、多様化する日本社会の労働の実態について、多面的・多角的に考察する。(思考・判断・表現)		

4章私たちの暮らしと経済 3節価格の働きと金融

単元の目標

- 経済における価格や貨幣の働きについて理解させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	市場経済の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな資料をもとに商品の価格について考え、経済についての関心を深める。 ・市場経済の基本的な考え方について、身近で具体的な事例を通して理解する。 	身近で具体的な事例を通して、商品の価格はどのように決まるのかなどについて考えることで、経済についての関心を高めている。(関心・意欲・態度)			企業や個人の生産・消費といった市場経済のしくみや価格の決定、影響について理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)
2	価格の働き	<ul style="list-style-type: none"> ・価格がシグナルの役割をしていることを理解する。 ・独占価格の影響や公共料金が設けられている理由を考える。 		独占価格や公共料金が設けられている理由を多面的・多角的に考察している。(思考・判断・表現)	具体的な商品の価格の変動を調べ、価格には人的・物的資源を効率よく配分するシグナルの役割があることを説明している。(技能)	
3	貨幣の役割と金融	<ul style="list-style-type: none"> ・金融の方法と働きについて、具立的な事例を基に理解する。 				金融の方法と働きについて理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)
4	私たちの生活と金融機関	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の売買やお金の貸借を通じ貨幣の働きについて考える。 ・日本銀行の役割について理解する。 	身近な貸借事例をもとに、金融の働きについて興味・関心を持ち、多くの事例を調べようとしている。(関心・意欲・態度)			日本銀行の役割を理解し、その知識を身に付けている。 (知識・理解)
5	景気と金融政策	<ul style="list-style-type: none"> ・好景気と不景気の特徴についてまとめ、景気変動が社会や生活に与える影響について理解する。 				景気変動が社会生活に与える影響や、金融政策の意義について理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)

4章私たちの暮らしと経済 4節政府の役割と国民の福祉 (4時)

単元の目標

- ・経済における政府の役割について考察させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	私たちの生活と財政	<ul style="list-style-type: none"> ・税金の種類や仕組みについて理解し、税金の公平な負担につちえ多面的・多角的に考察する。 		税金の公平な負担について、政府や納税者などの立場から多面的・多角的に考察し、公正に判断している。(思考・判断・表現)		
2	政府の役割と財政の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事例を通して、社会資本の整備など国や地方公共団体がやっていることを探し、政府が果たしている 		市場(民間企業)の働きだけでは解決できない諸問題について身近な事例を探し、政府の役割について考察している。		

		経済的な役割を考える。		(思考・判断・表現)		
3	社会保障の仕組み	・社会保障の基本的な考え方と日本の社会保障制度の概略を理解する。				社会保障の基本的な考え方と日本の社会保障制度の概略を理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)
4	少子高齢化と財政	・少子高齢化の現状とこれからの社会保障の在り方について考える。 ・日本の社会保障と財政の在り方について、他国の事例と比較するなど多面的・多角的に考察し、話し合う。	少子高齢化の問題点や課題を身近な生活の事例を通して考え、諸外国の現状と比較して調べる。(関心・意欲・態度)		少子高齢化の現状について、複数の資料を様々な情報手段を使って収集している。(技能)	

4章 私たちの暮らしと経済 5節 これからの経済と社会 (7時)

単元の目標

- ・現代の経済に関する諸問題について進んで学習に取り組ませる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	公害の防止と環境の保全	・公害の発生と住民運動、防止のための国や地方公共団体の取り組みについて調べる。 ・環境を保全し、循環型社会を形成するために、自分には何ができるか考え、表現する。	循環型社会の形成のために自分にはできないことを意欲的に追究し、話し合いに積極的に参加している。(関心・意欲・態度)			四大公害病の経緯や地球環境問題、それらを防止するための住民や国、地方公共団体、企業の取り組みについて理解している。(知識・理解)
2	グローバル化する日本経済	・世界経済における貿易の役割や、日本の貿易の特徴について理解する。			日本の貿易の特徴について、統計資料から的確に読み取っている。(技能)	
3	豊かさと経済	・豊かな社会について考え、必要なことを考える。		豊かな社会を実現するために何が必要かを考え記述する。(思考・判断・表現)		
4	公害のない世界へ	・公害の社会について考え、必要なことを考える。		公害のない社会を実現するために何が必要かを考え記述する。(思考・判断・表現)		
5	貿易の自由化と日本	・円高・円安といった為替相場の変動が自分たちの暮らしや経済へ及ぼす影響について理解する。				為替相場の役割や、暮らしへの影響について、具体的な事例を基に理解している。(知識・理解)

6	コンビニ弁当を企画しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・弁当の企画書作成から、学習内容を振り返る。 ・経営者の視点、効率と公正の視点から多角的・多面的に企画書を立案する。 	話し合いや企画書作りなどに意欲的に参加している。(関心・意欲・態度)	弁当の企画書について、経営者の立場から、現在の景況感などを踏まえて多角的・多面的に考察し、企画に自分の考えを分かりやすく表現している。(思考・判断・表現)		
7	4章の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・4章の内容を振り返り確認する。 				4章の内容について大まかに理解している。(知識・理解)

5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み (5時)

単元の目標

- ・国際社会の仕組みについて理解させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	バター戦争	<ul style="list-style-type: none"> ・架空の事例から、世界で起きている戦争や紛争と解決のための取り組みについて関心を高める。 ・戦争や紛争がなぜ起こるのか、どうすれば防ぐことができるのか考える。 	架空の事例を通じて、国際社会の問題に関心をもち、課題を意欲的に追究している。(関心・意欲・態度)	戦争や紛争の原因や影響、解決策について、既習事項や資料を基に多面的・多角的に考察し、自分の考えを表現している。(思考・判断・表現)		
2	国際社会における国家	<ul style="list-style-type: none"> ・主権国家と国旗・国歌の意味を理解する。 ・国際社会のルールについて理解し、国際社会での相互依存関係の深まりについて関心を高める。 		国家が相互に尊重し合うためにはどのようなルールが必要か、話し合っている。(思考・判断・表現)		すべての国家の主権が相互に尊重されなければならないことを理解している。(知識・理解)
3	国際連合の仕組みと役割	<ul style="list-style-type: none"> ・国連のしくみや活動について、総会、安全保障理事会、ユネスコ、ユニセフなどの具体的な活動を取り上げ、関心を高める。 				国連の目的と、その目的を実現するために国連がどのような活動をしているのかを理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)
4	地域主義の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・地域主義の動きを、EU, ASEAN, APECなどの具体的な事例を通して理解する。 ・地域主義の動きに日本がどのようにかかわっているのかについての関心をもつ。 	地域主義の動きに日本がどのようにかかわっているのかについて、関心が高まっている。(関心・意欲・態度)			地域主義の動きを、EU, ASEAN, APECなどの具体的な事例を通して理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)
5	新興国の台頭と経済格差	<ul style="list-style-type: none"> ・新興国の台頭などの国際関係の変化について、新聞記事やインターネットなどを基に調べ、関心をもつ。 		テロ事件が起きている理由や、地域紛争を含め、戦争が各地で頻発している原因について考え、発表やまとめを行っている。(思考・判断・表現)		

5章地球社会と私たち 2節さまざまな国際問題

単元の目標

- ・今日の国際問題について理解させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	地球環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題の解決に向けて、日常生活で取り組めることを考え、話し合ったり、発表したりする。 ・さまざまな地球環境問題や地球温暖化のメカニズム、解決のための国際協力について、具体的な事例を通じて理解する。 	地球環境問題に関心を持ち、その解決に向けてどのような取り組みが必要か意欲的に追究し、考えている。(関心・意欲・態度)	温室効果ガスの排出削減をめぐる議論について、効率と公正などの観点を踏まえ、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。(思考・判断・表現)		
2	資源・エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本のエネルギー供給や消費の状況について、統計資料を基に読み取る。 			資源・エネルギー問題について、統計資料や写真を基に的確に読取ったり、最近の状況についての情報を適切に収集・選択している。(技能)	
3	日本のエネルギー政策の今後	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のエネルギーの供給・消費の現状を理解し、在り方を考える。 	日本のエネルギー政策の在り方について関心を持ち、意欲的に考えたり、話し合ったりしている。(関心・意欲・態度)			
4	貧困問題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増加や食料供給の偏りなどのため、貧困問題が発生していることを理解し、解決策を考える。 ・子どもや女性といった社会的弱者が貧困の影響を受けやすいことに気づき自立に向けた取り組みについて考える。 	貧困問題や水問題などに関心を持ち、自分はどうに関わっていったらよいか意欲的に考えている。(関心・意欲・態度)		貧困に関する資料を収集・選択し、複数を関連付けたり比較したりしながら読み取り、貧困問題の原因や解決策をまとめている。(技能)	
5	新しい戦争	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地で起こっている地域紛争の原因を考察し、解決のための国際的な取り組みについて理解を深める。 		世界各地でテロリズムや地域紛争が発生している原因について、多面的・多角的に考察している。(思考・判断・表現)		
6	パレスチナ問題	<ul style="list-style-type: none"> ・パレスチナ問題を多面的に理解する。 				パレスチナ問題について様々な立場と利害関係を考え理解している。(知識・理解)

7	中東平和	・中東問題を歴史的な背景とともに理解する。				中東問題について、歴史的な背景をふまえて理解している。(知識・理解)
---	------	-----------------------	--	--	--	------------------------------------

5章地球社会と私たち 3節これからの地球社会と日本 (6時)

単元の目標

- ・これからの課題について進んで学習させる。

時	学習内容	学習目標	評価計画			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	文化の多様性の尊重	・世界の文化の多様性について理解し、文化の多様性の尊重、異文化理解の意義を考える。				文化の多様性の尊重が世界の平和と人類の福祉の増大につながることを理解している。(知識・理解)
2	日本の外交の現状と課題	・日本の領土をめぐる問題の現状を理解し、日本の外交上の課題について考える。		近隣諸国との関係や外交上の課題について、解決策を考察している。(思考・判断・表現)		
3	世界とつながる日本	・日本が世界のさまざまな地域とつながっていることに気づき、関心をもつ。	日本と世界とのつながりに関心を持ち、つながりを強める方法を考える。(関心・意欲・態度)			
4	世界平和のために	・世界平和の実現のために日本にできる貢献は何か考え、発表する。		戦争のない、より良い地球社会を目指すために、日本や私たちにできることを考え、発表している。(思考・判断・表現)		
5	アニマル大陸の危機を救え	・章の学習を振り返り、国際問題を解決する学習から、国際問題の複雑さを理解する。 ・対立を解消するために、利害調整や効率と公正などの観点が重要であることを理解する。		架空の国際問題の解決策について、効率と公正などの観点を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。(思考・判断・表現)	国際問題や国際関係の状況を資料からの確に読み取り、解決の方法を話し合い、自分の主張を分かりやすくまとめている。(技能)	
6	5章の振り返り	・5章の内容を振り返り確認する。				5章の内容について大まかに理解している。(知識・理解)

終章より良い社会を目指して (8時)

単元の目標

- ・持続可能な社会に向けて、今まで学習した内容をまとめさせる。

			評価計画			

時	学習内容	学習目標	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1	持続可能な社会へ	・持続可能な社会を形成するためには、社会の課題を解決することが必要であることを理解する。				平和、人権、環境、貧困などに関連した課題を解決することが、持続可能な社会の形成に必要であることを理解し、その課題に関する知識を身に付けている。 (知識・理解)
2 ～ 6	レポート作成	・自分で設定したテーマに従いレポートを作成する。		調べた内容を分かりやすくまとめ、適切に表現している。		
7 ・ 8	クラス内発表	・作成したレポートをクラス内で発表する。	作成したレポートを進んで発表している。 (関心・意欲・態度)			